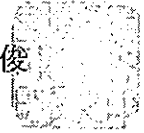


富都第 462 号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 殿

富谷町長 若 生 英 俊



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

平成20年9月17に付け国道企第37号で依頼がありましたこのことについては、別添のとおりです。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様 式 ①

宮城県富谷町

本町では、全国一斉に年 2 回実施される春と秋の交通安全運動期間に先立ち、地元警察や交通安全協会と連携しながら、町民一人ひとりが安全で安心して生活できるよう、町内一円の町内一斉巡回パトロールや通学路の音楽パレード等の活動を通して、安全確認や交通安全に対する意識向上と啓発に力を注いでいるところです。

しかしながら、最近の車社会を反映して国道や県道といった主要幹線道路のみならず、それを補完する町道についても交通量が増大しており、それに伴い交通事故が増加している現状を大変憂慮しております。

この現状を踏まえ、町民が真に求める安全安心対策として、下記のとおり改善すべき点、要望をいたします。

○改善すべき点

- ・道路管理者と公安委員会がそれぞれの持分の垣根を越え、連携を密にして取り組むこと。

○要望

- ・事故が多発する傾向にある主要交差点に、信号機や交通安全施設の設置等を行うこと。
- ・上記の支援策として関係省庁が共に連携して即効性が発揮できるような施策と、交通安全対策費予算枠の確保を行うこと。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１地域の現状と抱える課題

様 式 ②

宮城県富谷町

○現状

本町では現在、仙台都市圏の骨格を形成する幹線道路網のうち、外郭を形成する仙台北部道路の利府しらかし台 IC から富谷 JCT までの区間の工事が平成 21 年度の完成を目指し、鋭意進められています。

また、富谷 JCT から国道 4 号までの区間についても調査設計が開始されており、引き続き平成 23 年度全線完成に向けて工事が進められようとしています。

これに歩調を合わせるかのように、平成 22 年には世界のトヨタグループのセントラル自動車(株)や世界第二位の半導体製造メーカーである東京エレクトロン(株)が近隣町村に相次いで移転・操業することとなり、本町としても企業誘致のためのアクセス整備が急務となっています。

町道の整備については、改修を要する町道路線を施工中ながら、未改修の路線もまだ残っておりますし、30 年を超える団地部の側溝の有蓋化や老朽化した舗装の改修といった、町民の負託にこたえるための改修費用の捻出に苦慮しています。

○課題

仙台北部道路が完成すれば国道 4 号は勿論、その他の幹線道路の交通量は顕著に増加すると予測されることから、これに対処するために、仙台都市圏の北部エリアの中心都市として人口が増加し、それに伴い交通量も増加しており、交通事故防止や交通渋滞緩和対策としての道路ネットワークの構築が大変重要となっています。

その整備手法のひとつとして、都市計画道路の未整備部分である改良区間の延伸整備をはじめ、高齢者や障害者などのいわゆる交通弱者の社会参加を容易にするための道路環境整備として、歩道段差の解消などバリアフリー対策が必要となっています。

また、交通事故対策として、小中学校の通学路となっている町道の歩道整備や、道路管理の万全を期するために、道路施設の老朽化した部分の修繕・改修とを調整しながら、町道を整備していかなければなりません。

今後の道路行政についての意見・提案

②－２地域の目指すべき将来像

様 式 ③

宮城県富谷町

本町は仙台市の北側に隣接しており、昭和40年代後半から相次ぐ住宅地の開発により人口が増加し、平成20年9月末現在45,600人と年間1,000人のペースで増加し、5万人が視野に入るまでに成長してまいりましたが、今後は住宅地としてのみならず、地の利・人の和を生かし、自然と調和した自立する産業都市を目指してまいります。

そのために、企業等の誘致促進及び立地の推進を図り、産業の基盤強化と振興に資するには、都市基盤である道路整備の促進が最も重要であると考えます。

また、少子高齢化社会が急速に進む社会環境ではありますが、富谷町の目指す「幸せを実感でき、笑顔輝くあったかい富谷」を実現し、安全で安心して生活できる福祉社会を構築するためには、歩行空間のバリアフリー化や交通安全対策など、富谷町の実状に即した道路整備を図る必要があります。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様 式 ④

宮城県富谷町

○重点事項 ・ 地域活力の向上	○代表事例 仙台北部道路の整備	○期待する効果や評価等 発展する仙台都市圏において増大が予想される交通需要に対応するため「仙台北部道路」は、三陸縦貫自動車道や仙台東部道路と東北縦貫自動車道、一般国道 4 号を連結するとともに、東北地方の国際的窓口である仙台空港や仙台塩釜港、仙台都市圏自動車専用道路網の一翼を担う重要な高規格幹線道路であります。 お蔭様で仙台都市圏の自動車専用道路環状ネットワークの約 90%が完成となり、残すところあと 10%の 6.6 キロメートルとなりました。 本町においても、関係各位のご努力により、利府インターチェンジから富谷ジャンクション及び国道 4 号までの整備が着々と推進されております。 今後はさらに一般国道 4 号に接続とあわせ、富谷 JCT のフル JCT 化が実現されることにより、なお一層本町をはじめ、黒川地域や仙台都市圏の発展振興と快適で豊かな生活の実現に大きな役割を果たすこととなりますので、一層の事業促進により早期完成、早期供用に特段のご配慮をお願いいたします。	○その他
------------------------	------------------------	---	------